

平成31年度当初予算
部局別要求方針

市民協働部

部局別予算要求方針

部の現状、課題、予算要求方針等を記入して下さい。

1 31年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

避けられない人口減少、少子高齢化が突きつける社会構造の変化により、行政では、財政の硬直化、職員数の減少、均一サービスの限界など「公助」機能の縮減があると同時に、これまで市民自治を担ってきた自治会においても担い手不足等により、その機能が急速に失われつつある。

今後、社会構造の変化に対する『持続可能』な地域社会づくりを行うためにも、子どもから高齢者まで、地域の自然や歴史、スポーツ、文化芸術に学び親しんでもらいつつ、様々な分野で活躍できる「担い手」を育成するとともに、産業文化交流拠点を核に、市民、自治会、地域づくり協議会、市民活動・生涯学習・スポーツ団体、企業、行政など様々な主体の協働により、イノベーション（新たな手法での地域課題の解決）を図っていく。

2 予算要求の重点事項（新年度の取組目標、新規施策等）

※部局内での事業の優先順位及び必要性を明記すること。

（優先すべき事業）

- ・産業文化交流拠点整備事業
- ・（仮称）北部地域総合体育館整備事業
- ・中央図書館開館事業
- ・まちづくりセンター整備事業
- ・アウグスブルク市姉妹都市交流 60 周年記念事業

（事業の必要性）

- ・周辺公共公益施設がこれまで担ってきた市域の中心的都市機能の特性をふまえ、複合型の拠点施設として中央図書館・長浜まちづくりセンターを整備統合することで、施設の効率化を図るとともに、相乗効果により利用者の増加につなげ、新たな人材、活動や賑わいを創出し、市民生活や地域経済の活力を高め、中心市街地活性化の推進を図るため。
- ・2024 年に滋賀で開催される国民スポーツ大会における柔道会場として、また地域スポーツの拠点施設として整備し、大会の円滑な運営、地域スポーツの普及を推進するため。
- ・中央図書館として期待される機能を発揮し、図書館サービスの効果的・効率的な提供を図るため。

- ・まちづくりセンターを核とする、市民協働推進の新たな仕組み、体制を構築するため、安全・安心・快適な施設の利用環境を整備する。
- ・姉妹都市交流 60 周年を契機に、文化・経済交流をさらに活発にしていくため。

3 事務事業の再構築（事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果）

- (1) 自主防犯活動支援補助金(防犯灯設置補助)
- (2) 「ひと」の創生事業委託料
- (3) 日本オオサンショウウオの会長浜市大会
- (4) 雨森芳洲庵と菅浦歴史史料館の展示造作